



シリーズ

# 武雄の治水

vol.30

～水と共に生きるまちへ～

今回のテーマは

## 操作員の役割

市内の排水機場や樋門・樋管などの管理・操作は、地域の操作員の方々に担っていただいています。今回は、操作員の役割を紹介します。

市内を流れる六角川には、たくさんの排水機場や樋門・樋管があり、約100人の操作員の方々が管理・操作を行っています。

### 排水機場とは？

排水ポンプを運転して、内水を河川に強制的に排水



▲R4.5月号

大雨時



### 樋門・樋管とは？

合流する大きな河川からの逆流を防ぐ



▲R6.9月号

大雨時の迅速な活動で地域の浸水被害が軽減されています。

### 操作員の役割

排水機場や樋門・樋管には、国や県、市が所有する施設があり、操作員の皆さんに操作業務を委託しています。大雨時に適正な操作ができるよう、平時も施設の管理を行っています。

#### 〈平時の活動〉

- 施設の点検（月に1～2回の動作確認や外観の点検）
- 周辺整備（施設内や周辺の草刈、たまった泥や引っかけた草木の除去）

#### 〈出水時の活動〉

【排水機場】ポンプ運転を行い、内水の排水作業

【樋門・樋管】外水位と内水位を見ながら開閉作業を行い、川からの逆流を防止



▲操作室での点検



▲除塵機の点検



▲施設内の草刈り



▲樋門の点検・周辺の清掃

施設ごとに操作を開始・停止する基準水位などが定められており、大雨時には要領に則って操作をしています。しかし、気象警報の有無に関わらず、水位の状況で出勤したり、雨が止んだ後も長時間排水作業が続くなど、見えないところで大変なご尽力をいただいています。



大雨はいつ発生するか分からず、昼夜を問わない活動が行われています。操作員の方々は、流域住民の生命・財産を守り、浸水被害を軽減するための必要不可欠な存在です。

### お願い

排水機場には、大雨時に雨水と一緒に流木など様々な塵芥（ゴミ）が流れてきます。ポンプが塵芥を取り込むと、ポンプの排水能力の低下や停止の可能性があります。また、大量の塵芥が流れてくると除塵機にからまり、除去するために危険な作業が伴います。

大雨や台風の予報が出ている際には、自宅や農地周辺を整理して、洪水と一緒にものが流されないようご協力をお願いします。



▲除塵機で取り除かれた塵芥（ゴミ）  
農業用のシートやパレットなどが  
流れ着く場合もあります。

詳しくは まちづくり部 治水対策課 ☎0954-27-7097

シリーズ武雄の治水 バックナンバーはこちらから▶

